

科学技術コミュニケーション推進事業問題解決型科学技術コミュニケーション支援
(ネットワーク形成型)

平成 28 年度採択企画最終ヒアリング結果報告書

1. 企画名 学術-メディア連携を軸とした東日本大震災に関する教訓の他地域・次世代への継承
2. 提案機関 国立大学法人東北大学災害科学国際研究所

3. 企画の概要

東日本大震災に関する教訓を、次世代および津波災害が起こりうる他地域（東南海地震想定被害域・ハワイ）に伝え、防災力強化を図ることを主たる課題とする。本企画では、課題を達成するため、当研究所が運営に関わってきた「みやぎ防災・減災円卓会議」「メディア懇話会」を発展させて実施する。海外の事例も参考にしつつ、日本の学術-メディア連携のプロトタイプを構築し、研究者およびメディア関係者の社会発信に関する意識・行動変革を目指す。本企画および企画の成果についてはメディアにおける記事化・番組化を図り、広く国内外に発信する。

4. 最終ヒアリング結果総合所見

計画は達成され、ネットワークの定着・継続・発展が期待できる。

多くの関係者に働きかけ、学術-メディア連携を構築して、「みやぎ防災・減災円卓会議」「メディア懇話会」「世界防災フォーラム」など多くの活動を実施し、国内他地域に留まらず国際的な活動にも発展させたことは評価できる。

今後、学術的な体系化ではなくとも、学術-メディア連携の構築に向けた活動プロセスや手法を他の技術分野からも参照できるような記録として残してほしい。さらに、東日本大震災に限らず科学技術情報のメディアとのコミュニケーションの幅を拡げてほしい。

以上